

25 フランス語に翻訳された日本の絵本（2021年1月14日）

フランスに来て、多くの日本の絵本が翻訳されていることを知りました。数多くの絵本を出版しているエコール・デ・ロワジール社が初めて日本の絵本を出版したのは1978年で、安野光雅による文章のない「旅の絵本 中部ヨーロッパ編」(Ce jour là...) です（日本での初版は1977年）。



CE JOUR-LÀ..., de Mitsumasa Anno, © 1978, l'école des loisirs, Paris

同社は、いわむらかずおの「14 ひきのシリーズ」も出版しています。このシリーズは、大きな森の木を改造した家に住む14匹のねずみの大家族の日常生活を通して、家族の団らんの喜びを描いた12冊の絵本です。



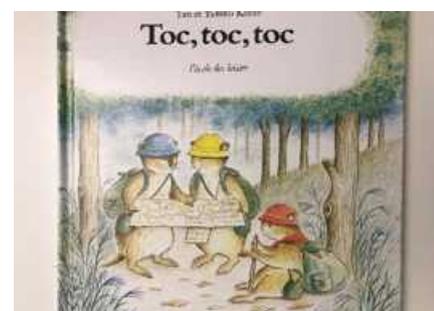
LE PETIT DÉJEUNER DE LA FAMILLE SOURIS, de Kazuo Iwamura, © 1985, l'école des loisirs, Paris

同社の幹部が日本人作家について語った動画によると、日本の絵本は、「14 ひきのシリーズ」に代表されるように、緻密な観察に基づいて描かれた日常生活の様子が、絵本の世界の中の場面と

なってお話を生み出すことが特徴で、脚色が重要なヨーロッパの絵本にはなかった面白さであると考えて、自社で出版することにしたと説明しています。

「14 ひきのシリーズ」は、日本で1983年に刊行が始まり、これまでに世界中で累計1500万冊が出版されました。いわむらかずおは、2014年にフランス芸術文化勲章シュバリエを受章しました。

他の出版社からは、日本の絵本作家として有名な五味太郎の作品も出版されています。日本で1976年に出版された山下明生（はるお）作で村上勉がイラストを手がけた「てがみをください」(S' il te plaît, écris-moi)や小出保子・淡夫妻作の「とんとん、とめてくださいな」(Toc, toc, toc)（日本初版1992年）も見つけました。日野十成（かずなり）作で斎藤隆夫が絵を担当した「か



TOC, TOC, TOC ! de Tan Koide et Yasuko Koide, © 1983, l'école des loisirs, Paris

えるの平家物語」(Les grenouilles Samouraïs de l' étang des Genji)は、源氏と平家をカエルと猫に置き換えて、約800年前に成立したと言われる源氏と平家の戦いを描いた平家物語を分かりやすく楽しめる絵本です。

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

そして、私が子供の頃に読んだフランス生まれの絵本がないか探してみました。見つけました！バーバパパ。フランス人のアネット・チゾンとアメリカ人のタラス・テイラー夫妻が生んだ名作シリーズです。このバーバパパのシリーズを日本に紹介したのは、「てがみをください」の作者で翻訳家でもある山下明生です。

名作は、時代を超えて世界中の子どもたちに愛されていることが分かります。